

「複文構文の意味の研究」研究発表会 2012年5月13日 学習院大学

事態の既定性と「せっかく」構文

創価大学文学部
蓮沼昭子
hasunuma@soka.ac.jp

2

本発表で考えたいこと

1. 「せっかく」は、実現が不確実なテモ節や(ノ)ナラ節には使用されないとされる。しかし、大量とは言えないがコーパスには使用例が存在する。
2. 一方、タラ・バト節での「せっかく」の使用は不自然で、使用例もほとんど見当たらない。
3. 上記1、2の現象の理由を、大規模コーパスの使用例の観察・分析に基づき説明する。
4. 「せっかく」が使用されているテモ節と(ノ)ナラ節の例をやや詳しく観察し、意味・構文の特徴を明らかにする。
5. 「せっかく」は既定的な従属節で使用される傾向が強いが、「せっかく」が使用された(ノ)ナラ節、テモ節の特徴を、既定性と関連付けて考察する。

3

問題の所在1

- (1) [せっかく/パリに{ * 行っ**たら** / * 行けば / 行く(の)なら}]
ルーブル美術館を見たほうがいいよ。
- (1)' [パリに{行っ**たら** / * 行けば / 行く(の)なら}]ルーブル美術館を見たほうがいいよ。

- ◆「せっかく」を伴う(1)では、タラが使用できないのに対し、「せっかく」を取り除いた(1)'では、使用可能になるのはなぜか。
- ◆(ノ)ナラはどちらの場合も使用可能だが、バは使用不可能。
→主節のモダリティ制約を受けるため

4

問題の所在2

◆渡辺実(2001)

- (1) * **せっかく**行っ**ても**留守だろうよ。
- (2) * **せっかく**訪ねて行く**なら**いい返事をもらって帰ってきなさい。
(容認判断は渡辺による)

「『P』そのものは、既実現しているか、少なくとも実現が話手によって確実視されているのが普通」であり、「『P』を実現不確実な扱いで言えば、おかしな日本語になるのが普通」(渡辺2001:35)

→ しかし、コーパスには、テモ節、ナラ節に「せっかく」が使用されている例が少なからず存在する。

5

「せっかく」の意味・構文の特徴

◆渡辺（1980・2001）

「せっかく」は「話手にとって価値あるPが実現し、それに伴って実現してPの価値を完全なものにすることを期待されるQを、Pの延長線上に見越す言葉」（渡辺2001: 32）とし、構文の上では、基本的に次のような複文形式をとり、Qには結局実現しなかった、あるいはまだ実現していない事態が続くとされる。

(Ⅰ) せっかくPなのにQでない

(Ⅱ) せっかくPだからQしよう

◆工藤（1982）

(Ⅰ)(Ⅱ)のような複文での使用を基本とする「せっかく」の特性に着目し、叙法副詞の分類において「条件—接続の叙法」の「譲歩～理由」に「せっかく」を位置づけている。

6

せっかく構文の制約

◆「せっかく」は基本的に複文で使用され、単文では使用されにくい。

- (1) * せっかくビジネスクラスでパリに行こう。
- (2) * せっかくおいしい料理を作ってください。
- (3) せっかくでしたね。

◆「せっかく」は、過去に実現した事柄には使用しにくい。

- (4) ??せっかくパリに来たのだから、ロンドンまで足を延ばした。
- (5) せっかくパリに来たのだから(この機会を生かそう)と思って、ロンドンまで足を延ばした。

→()内の未実現の表現が端折られている

7

既定性 “Settledness” (有田2007)

◆「既定」とは真偽が定まっていることを意味する。

◆既定命題: 発話時に真偽が決まっている命題

◆非既定命題: 発話時に真偽が決まっていない命題

◆日本語では、完全時制節が既定命題を表し、不完全時制節が非既定命題を表す。

◆完全時制節

—基本形とタ形の両方が出現可能で、発話時との時間的先後関係に対応。

—双方向の時間関係が表せる(主節→従属節、従属節→主節)。

◆ノデ・カラ・(ノ)ナラ: 完全時制節を導く。双方向の時間関係

◆バ・タラ・テモ: 不完全時制節を導く。一方方向の時間関係

- (1) 明日{休む(の)なら／*休めば／*休んだら}、今日は残業しなければならない。主→従
- (2) 昨日{休んだ(の)なら／*休めば／??休んだら}、今日は残業したほうがいい。従→主

8

2種類の既定性(有田2007)

◆狭義に既定的な命題

現在成立している命題あるいは過去に成立した事態を表す命題

- (1) 田中が泣いた。
- (2) 机の上に新聞が置いてある。

◆広義に既定的な命題(既定が見込まれる命題)

厳密には発話時以降に成立するが、発話時において成立することが何らかの形で決まっている事態

- (3) 明日東京に出張する。

本発表では、「既定性」の概念の厳密な定義は行わず、有田の2種類の既定性に対する考え方をとりあえず援用して考察を進める。

先行研究 小矢野(1997c)

＜表1＞ 小矢野(1997c)の「せっかく」の用法分析

連体的つきそい・あわせ文での使用例	143	31.2%
連用的つきそい・あわせ文での使用例	315	68.8%
計	458	100.0%

＜表2＞ 小矢野(1997c)における連用用法の内訳

まさめの関係およびそれに準じた関係	130	41.1%
うらめの関係およびそれに準じた関係	186	58.9%
計	316	100.0%

9

＜表3＞ 小矢野(1997c)の「せっかく」の連用用法の内訳

うらめの関係およびそれに準じる関係を表す形式		まさめの関係およびそれに準じる関係を表す形式	
形式	使用数 / 割合 / 316	形式	使用数 / 割合 / 316
せっかく～する/したのに	100 / 31.6%	せっかく～のだから	62 / 22.2%
せっかく～しても	25 / 7.9%	せっかく～のだからと	8 / 2.2%
せっかく～して	11 / 3.5%	せっかく～から	3 / 0.9%
せっかく～ながら	10 / 3.2%	せっかく～のだ。	6 / 1.9%
せっかく～したものを	5 / 1.6%	せっかく～ではないか	3 / 0.9%
せっかく～すると	3 / 0.9%	せっかく～だし	2 / 0.6%
せっかく～するにはしたが	1 / 0.3%	せっかく～ものだから	5 / 1.6%
せっかく～したにもかかわらず	1 / 0.3%	せっかく～ものだ	1 / 0.3%
せっかく～したくせに	1 / 0.3%	せっかく～のだもの	2 / 0.6%
せっかく～したけれども	1 / 0.3%	せっかく～ので	2 / 0.6%
せっかく～したのだけど	1 / 0.3%	せっかく～だもの	1 / 0.3%
せっかく～したまま	1 / 0.3%	せっかく～ことだから	1 / 0.3%
「せっかく」で言い差したもの	1 / 0.3%	せっかく～する	1 / 0.3%
文脈上、ここに入るもの	2 / 0.6%	せっかく～のなら	5 / 1.6%
方言の例	1 / 0.3%	せっかく～のならば	3 / 0.9%
		せっかく～するならば	3 / 0.9%
		せっかく～からには	3 / 0.9%
		せっかく～する以上	1 / 0.3%
		文脈からここに入るもの	1 / 0.3%
圧縮表現「せっかくだが」類	21 / 6.7%	圧縮表現「せっかくだから」	14 / 4.4%
圧縮表現「せっかくだけれど」	1 / 0.3%	圧縮表現「せっかくですもの」	1 / 0.3%
		圧縮表現「せっかくなら」	1 / 0.3%
		圧縮表現「せっかくだし」	1 / 0.3%
		圧縮表現「せっかくだし」	1 / 0.3%
うらめ関係 小計	186 / 58.9%	まさめ関係 小計	130 / 41.1%
		連用用法合計	316 / 100%

本発表の調査結果の概要 〈表4〉

＜表4＞「書き言葉コーパス」における「せっかく」の用法分布

用法	意味・形式	使用回数	割合 / 1456
連用用法	逆接的	逆接的接続形式(セツカク～ノニ/テモ等)	404
		圧縮表現(セツカク～ダガ等)	19
	順接的	順接的接続形式(セツカク～ノダカラ/ノナラ等)	284
		状況成分(セツカク～トキニ等)	5
	圧縮表現(セツカクダカラ等)	57	
	連用用法合計	769	52.8%
言い切り用法 (単文で終止)	逆接関係に解釈できるもの	5	
	順接関係に解釈できるもの	19	
	両義的なもの	5	
	小計	29	2.0%
連体用法	セツカク～スル/シタNガ・ヲ・ニ等	279	
	セツカクノN	360	
	旧用法	9	
	不明	3	
	その他	7	
	小計	658	45.2%
	合計	1456	100.0%

各用法の代表例1

◆連用用法

- 寺前委員: **せっかく**大臣がお見えな**のに**、大臣をほったらかしておいてどうも済みません。(国会会議録)
- せっかく**昇進された**のですから**、それに見合うような小洒落たものを身に付けるといっても良いと思います。(Yahoo!知恵袋)

◆圧縮表現

- 「**せっかくです**が、メモ用紙は社内では不要になる紙で間に合っています。(後略)」(上前淳一郎『人・ひとと・セツ』)
- 今週末から会社の旅行で仙台に行くことになりましたので、**せっかくだから**美味しいものでも食べたいなと思っております。(Yahoo!知恵袋)

◆言い切り用法

- 「あら、**せっかく**久しぶりに会った**んでしょ**う。急ぐことないじゃない。(後略)」(草鹿外吉『灰色の海』)

→順接・逆接の両義的解釈が可能

せっかく久しぶりに会った**{のだから/のに}**、急ぐことないじゃない。

12

13

各用法の代表例2

- ◆連体用法

(4) でも、**せっかく**キャリアを育ててきた人が結婚して仕事をやめていくのを見ると、なにか寂しい。
(海原純子『素敵な自分に気づく本』)
- ◆規定語

(5) 書く内容を事前に頭のなかで整理できないような人にとっては、**せっかく**のEメールも宝の持ち腐れなのだ。
(堀場雅夫『仕事ができる人できない人』)
- ◆旧用法

(6) 鈴木内閣総理大臣：(前略)私どもは安保条約を踏まえながら、この武器輸出三原則とどのように調整してこれに対応するか、いま**せっかく**検討中でございます。(国会会議録)

14

連体と連用の連続性

(1) 津川委員：(前略)不本意ながら、**せっかく**構造改善局や林野庁や園芸局が支度されておた**のを**、ここで皆さんの意見を開陳できない、非常に残念であつたことを私は思いながら、支度して下さった皆さんにおわびし、後刻調べて私のところにそれぞれ報告して下さることをお願いして、質問を終わります。(国会会議録)

- ◆連体用法の解釈

せっかく支度されておた**意見を**ここで開陳できない。
- ◆連用逆接用法の解釈

せっかく支度されておた**のに**、ここで皆さんの意見を開陳できない。

書き言葉コーパスにおける「せっかく」の連用用法

<表5>
書き言葉コーパスにおける連用用法の分布内訳

順接関係およびそれに準じた関係	365	45.7%
逆接関係およびそれに準じた関係	428	53.6%
両義的に解釈できるもの	5	0.6%
計	798	100.0%

15

<表6>「せっかく」と共起する連用接続節と言い切り節の形式の使用分布(表前半：逆接的用法)

用法	表現形式	形式の大分類	形式	使用回数	割合/798	
逆接的	逆接的接続形式	ノニ類	ノニ	229	29.6%	
			ニモカカワラス	7		
		テモ類	テモ・デモ	96	12.7%	
			タツテ	4		
			トコロデ	1		
		ケド類	ナガラ(逆接)	ケレドモ・ケド	16	7.6%
				ナガラ	13	
				ノダガ・ガ	11	
				トコロ類	8	
				モノ類	7	
				テ形(逆接)	6	
		その他		中止形(逆)	1	
				トハイエ	1	
カラトイッテ	1					
ニ	1					
ノヲ	1					
トオモツタラ	1					
トオモツタラ	6					
圧縮表現		セッカクダガ	12	2.4%		
		セッカクダケド	5			
		セッカクダツタ	1			
		セッカクダツタ	1			
		セッカクナノニ	1			
小計				423	53.0%	

<表6> (後半: 順接的用法)

順接的	順接的接続形式	ノダカラ類	ノダカラ	128		
順接的	順接的接続形式	ノダカラ類	カラニハ	1	130	16.3%
			以上	1		
			その他の原因・理由節	40		
			ノデ・ワケナノデ	40		
			カラ・ワケダカラ・モノダカラ等	5		
		(ノ)ナラ類	コトダカラ・コトダシ・コトユエ	3		
			方言(キ、ケン)	5		
			テ	8		
			ノダモノ	12		
			シ	113		
		仮定条件節	Vルナラ(バ)	14		
			Nナラ	3		
			Vタナラ	2		
			Vルノナラ(バ)	9		
			Vタナラ	2		
状況節	Vルノデアレバ	2				
	Vタノデアレバ	1				
	Nナノダッタラ	1				
	Vルノダッタラ	3				
	37	4.6%				
状況節	仮定条件節	2				
	タラ	1				
	バ	1				
	ト	1				
	4	0.5%				
状況節	状況節	5				
	圧縮表現	40				
	セツカクダカラ	13				
	セツカクナノデ	3				
	セツカクナラ	1				
言い切り	小計	57				
		346				
		43.4%				
		15				
		5				
合計	小計	29				
		798				
		3.6%				
		100.0%				

「書き言葉コーパス」における「せっかく」の連用用法の分布の特徴

- 逆接関係では、ノニと共起する場合は229例あり、共起関係が顕著である。
- ノニよりも少ないが、逆条件のテモ・デモも一定数(96例)の共起が認められる。
- 順接関係では、ノダカラ節で使用される例が128例あり、共起関係が顕著である。その他の原因・理由節を加えると、計243例(30.5%)となり、原因・理由節でよく使用される。
- 条件節では、(ノ)ナラ類の節と一定数(37例)の共起が認められるが、原因・理由節に比べると、その割合は圧倒的に低い(全体の約4.6%)。
- 条件のタラ・バト節と共起する例は極めて少なく、その使用はやや不自然に感じられる(4例)。

タラ・バト節での「せっかく」の使用例

- 折角いい娘を見つけたら誰も自分の恋人にと願うのが人の常、甘美なワルツ『恋人と呼ばせて』が作られたアメリカは西海岸に、この年「スクリーン」の恋人を大量生産する夢の工場の候補地が発見されている(柳澤慎一「明治・大正スクラッチノイズ」)
- せっかく綺麗な夜景があれば、その前に友達や家族を立てての撮影もしたいものです。(園田誠「デジタルカメラ100の技」)
- 米内山委員:私は、別に会計検査院に、これは臭いから検査せいという身分でも立場でもないし、そういう気持ちは毛頭ありませんが、ただせっかく現地まで行きましたら、どういう場所をどういう買い方をしているかを現地で見ていただきたい。(国会会議録)
- 国務大臣(初村滝一郎君):いまお話がありましたような退職金等の未払いについては、これはせっかく会社更生法が適用されて管財人が決まりますと、労働省といたしましてこの管財人に対して退職金等の支払いの確保について強く要請をしてまいりたいと思います。(国会会議録)

- ◆(1)(2)「(の)なら」で言い換えたほうが自然さが増す。
- ◆(3)「行くのでしたら」とするか、「行くのですから、そこに行きましたら」とするほうが自然
- ◆(4)「決まるのですから、それが決まりましたら」の途中が端折られたケースか

(ノ)ナラ類の節での使用例1

- ◆(ノ)ナラ(バ)
- ロサンゼルスからサンフランシスコへ車で行く方法にはいくつかある。けれども、せっかくカリフォルニアを走るなら気分最高のドライブにしたいもの。(JTBバブリッキング「アメリカ西海岸」)
 - (前略)少なくとも義務教育におきましては完全実施というような方向性の中で位置づけられるという努力は、せっかく新しい法人をつくるならばそのぐらゐの意欲を持ってやってほしい、こういうふうには思っております。(国会会議録)
 - 「僕の部屋は汚くて、とても居心地が悪いんだ。せっかく君と過ごすのなら、気分のいいところのほうがいい。そう思わないかい?」(小池真理子「蠍のいる森」)
 - せっかく軽井沢に行くのなら、梅雨が明けてからとも思ったが、七月の半ばからは会議が続いて休みにくい。(渡辺淳一「失楽園」)
 - せっかく才能をもって生まれたなら凡人を楽しませてほしいですね。(Yahoo!知恵袋)
 - でも、せっかくお気に入りの品を買ったのなら、一日でも長く(多く)そして大切に使う…事に物の価値が出てくると思います。(Yahoo!知恵袋)
 - でもせっかく普通に勉強して30位ならもっと伸びますよ。志を高く持ってください。(Yahoo!知恵袋)

21

(ノ)ナラ類の節での使用例2

◆ノデアレバ

- (8) **せっかく**経費をかけてハガキを送る**のであれば**、お客さま一人ひとりに宛てた「一言メッセージ」を必ずつけ加えたいと私は思います。(杉山栄作「保険営業は顧客満足だけを考える」)
- (9) きょうたまたま法務委員会でも同時刻に審議をしておりますのでそちらでも出るかもしれませんが、**せっかく**つくった**のであれば**もう少しこの通知とかその辺の事務の煩雑さを緩和できる方法がないのか、お伺いしたいと思います。(国会会議録)

◆ノダッタラ

- (10) [ギフトも交換できる伊勢丹のサービス]
せっかく交換することができる**のだったら**、そこで言葉のエネルギーを節約してはいけません。(中谷彰宏「なぜあの人はお客様に好かれるのか」)
- (11) 楽しくやっていたらいいのでしたら、そのままでも良いと思いますが、**せっかく**47名という大編成レベルの部員数**なのでしたら**、少しは全体的なバランスを考えても良いのではないかと・・・(Yahoo!知恵袋)

22

考察 せっかく+(ノ)ナラ構文の特徴

◆せっかくPスル(ノ)ナラQ

Pに潜在的価値を認め、その価値を実現・充実させるためにとるべき適切な手段をQで述べるといった関係を表す

◆せっかくPシタ(ノ)ナラQ

- ① 価値あるPが成立した状況でその価値を充実させるために取るべき適切な行動や判断をQで述べる
- ② 聞き手から情報を受け取った場合に、Pを事実として仮定したうえで、その価値を充実させるために取るべき行動や判断をQで述べる

→PとQの関係は、目的とその価値を充実させるための手段の関係と捉えることが可能。因果関係を土台とするタラ・バトでは表せない、「(ノ)ナラ」に固有の用法である。(cf.蓮沼1985)

23

せっかく+(ノ)ナラ構文の例

◆PスルノナラQ

- (4) **せっかく**軽井沢に行く**のなら**、梅雨が明けてからとも思ったが、七月の半ばからは会議が続いて休みにくい。
 P「軽井沢に行く」場合、Q「梅雨が明けてからにしよう」
 事態の成立順序 Q→P「梅雨が明けてから、軽井沢に行く」
- (4)' * **せっかく**軽井沢に行**ったら**、梅雨が明けてからにしよう。
 タラは、事態間の因果関係を土台とする条件関係を表すためP→Qという順序で生起する関係しか表せないため、不自然。

◆PシタノナラQ

- (10) **せっかく**お気に入りの品を買った**のなら**、大切に使う事に物の価値が出てくると思います。
 ①の解釈:P「お気に入りの品を買った」場合には、Q「大切に使うべきだ」
 ②の解釈:P「あなたが気に入りの品を買った」ということなら、Q「大切に使うべきだ」

24

(ノ)ナラの既定性

- ◆「認識的条件文」は条件節が既定命題を表す場合であり、「のなら」はそれを専ら表すマーカである(有田2007)
- ◆ 定まった予定は「既定的」と見なせる
 - (1) **せっかく**軽井沢に行く**のなら**、梅雨が明けてからにしよう。
 「軽井沢に行く」ことは定まった予定
- ◆ (ノ)ナラは、Pが事実でQが反事実を表す条件文に使用可能
 - (2) **せっかく**東京に[来る/来た]**のなら**、もっと早く連絡してくればよかったのに。
 実際に東京に来る(来た)のに、連絡してくれなかった

25

テモの用法分類(前田1993・2009)

①並列条件

(1) 3を自乗すると9になる。-3を自乗しても9になる。

②並列・逆条件

(2) 結婚すれば悔恨あり。結婚しなくてもまた悔恨あり。

③逆条件

(3) このカメラ、水に濡れても壊れません。

④特殊用法

- (4) ご飯を食べてもお酒を飲んでも太らない。(V₁でもV₂でも)
 (5) 食べても食べても太らない。(V₁でもV₁でも)
 (6) 食べても食べなくても太らない。(V₁でも~V₁でも)
 (7) 誰に頼まれても、私は断る。(不定語+~でも 究極の並列条件)
 (8) 天地がひっくり返っても絶対^にあり得ない。(比喩的 究極の逆条件)

26

テモの用法分類

(日本語記述文法研究会編2008)

◆仮説条件

(1) (たとえ)この時計は水にぬれても、大丈夫だろう。

◆反事実条件

(2) (もし/たとえ)水にぬれていても、この時計なら大丈夫だったろうに。

◆事実条件

(3) この時計は水にぬれても大丈夫だった。

◆一般条件

(4) 海底では水は100度になっても沸騰しない。

◆反復・習慣

(5) 父は天気が悪くても毎日ジョギングを欠かさない。

27

テモの用法と「せっかく」の使用の可否

◆使用不可能

- ①並列条件
- ②並列・逆条件
- ③逆条件のうちの「反事実条件」(および「一般条件」?)
- ④特殊用法

◆使用可能

- ③逆条件のうちの「仮説条件」「事実条件」「反復条件」。
「せっかく」が使用されたテモは「一般条件」という解釈がしにくくなる。

28

「せっかく」が使用可能なテモの用法

- (1) せっかく努力しても、合格できないだろう。
(仮説条件)
- (2) * せっかく努力していても、合格は無理だったかもしれない。
(反事実条件)
- (3) せっかく努力しても、結局、合格できなかった。
(事実条件)
- (4) せっかくダイエットしても、結局はリバウンドの繰り返しだった。
(反復条件)

29

「せっかく」による既定性の付与

- (1) a **たとえ**努力しても、合格は無理かもしれない。(仮説条件)
 b **たとえどんなに**努力しても、合格は無理かもしれない。
 (2) a * **たとえせっかく**努力しても、合格は無理かもしれない。
 b * **せっかくどんなに**努力しても、合格は無理かもしれない。
 c **せっかく**努力しても、合格は無理かもしれない(既定条件)

◆仮定性や帰結を導く可能性の低さを強調する「たとえ」「どんなに」は、連続使用が可能である。一方、「せっかく」ではそれが不可能である。

◆「せっかく」は、それが付加する節に、現実性・既定性を付与する働きをもち、これがついたテモ節は、仮定的意味が限りなく希薄化している。「せっかく」は「たとえ」「どんなに」の仮定的意味と矛盾する意味を表すため共存不可能となる。

◆「たとえ」の用いられた(1a)「仮説条件」との違いを示すため、せっかくの用いられた(2c)を「既定条件」と仮称しておく。

30

テモ節での使用例1

◆既定条件

- (1) まして、銀行経営が磐石でない現状では、**せっかく**移管し**ても**、その銀行がつぶれるという可能性さえあるのだから。(溝上幸伸『公庫の廃止で住宅ローンはどう変わる!』)
 (2) 大型ヘリコプターは概してローターによるダウンウオッシュが強烈で、このため**せっかく**洋上の遭難者に接近し**ても**、相手を押しやってしまうことになる。(江畑謙介「艦載ヘリのすべて」)
 (3) [福寿草の鉢を見かけ]
 (前略)気持が動いたけれども、うちの植木溜のような庭には、**せっかく**さげて帰っ**ても**、植える場所がない。(庄野潤三「鳥の水浴び」)

31

テモ節での使用例2

◆事実条件

- (1) [旧ライブドア社長の堀江貴文氏に関する話題]
 多分、本当のライブドアブレンは苦勞してると思うよ。**せっかく**戦略立て**ても**知識の無い社長がテレビでべらべら思いつきでしゃべって、全て台無しにしてくれんだから(Yahoo!知恵袋)
 (2) (前略)なかなかたいへんな仕事だ。それに、**せっかく**荷物を届け**ても**、よろこんでくれないお客もいたりしてガツカリ。がんばろうと自分に号令をかけながら、キキは落ちこんでしまう。(風見隼人と東京アニメ研究会「スタジオジブリのひみつ」)
 (3) [山口智子がテレビに出なくなった理由についての質問への回答]
 唐沢寿明が「山口智子の旦那」と言われない為に、仕事を控えたと記憶しています。でも控え過ぎたから、**せっかく**またドラマに出**ても**大して話題にならなかつたですね。(Yahoo!知恵袋)
 (4) とくに、単純に教師同士の共通理解といっても学級を基本として枠組みを守っているかぎり、自分のクラス意識が強く、**せっかく**複数担任に**しても**、教師二人分の力が発揮できるどころか、かえって一人分の力も発揮できないことさえ**あった**と調査結果の報告がなされています。(小田豊「新たな幼稚園教育の展開」)

32

テモ節での使用例3

◆反復・習慣

- (1) いつになく顔色がよく、目にも力強さがみなぎっている布美子に、鳥飼は驚かされた。そのころはもう、布美子の気分がすぐれない日が多くなっており、**せっかく**訪ねて行っ**ても**、ほとんど話を聞けずに帰って来るとも**度々だった**からだ。(小池真理子「恋」)
 (2) しかし、農業恐慌のなかで娘を身売りさせなければならぬほどの時代です。農家も町村も貧しいため、**せっかく**経済更生計画をつくっ**ても**、資金がなくて計画倒れに終わるところが**多かった**のです。(岸康彦「興亡の国を支えて」)

33

テモ節での使用例4

◆一般条件？

- (1) (前略)血液中の薬効成分の濃度(血中濃度)を保つためには定期的な、一日一〜三回の服用が必要となります。薬効成分の濃度が低いと、**せっかく**飲んでも薬の効果は期待できなくなってしまうからです。(渡辺知明「胃腸病」)
- (2) **せっかく**バクテリアが繁殖してきて**ても**頻回に水を交換してしまうことで減ってしまいかえって逆効果です。(Yahoo!知恵袋)

「せっかく」が使用されているテモ節は、特定の事態の規則性を述べており、総称的・超時間的な法則性を述べているものとは区別される。

34

テモ節での使用例5

◆複条件文(cf.複々文(小矢野1997c))

- (1) **せっかく**よいものを選んで食べても、よくかんで食べなくてもは、栄養が十分に体に吸収されません。(水野葉子「オーガニックな生活」)
- (2) ただし、**せっかく**力をつけて**ても**効果的に使えなければ、その力が私利をはかることに使われ、かえって国は弱くなる。(守屋洋「商君書」)
- (3) **折角**為替(円安)で儲かって**ても**、価格の下落によって損をしようとして、差し引き0となる。(堀篤「預金封鎖であなただの資産が消滅する」)
- (4) それに**せっかく**親しい人をお招きしても、料理を作ったり、周囲に気を配っていておしゃべりができず、残ったのは疲労感だけだった、というのでは楽しくありませんね。(佐藤よし子「英国スタイルの家事整理術」)
- (5) 堆肥化するために剪定枝条を**せっかく**集めてチップ化して**ても**、中にわずかもガラス片が混入していれば、ガラス片の混入したものを農地に還元するわけにはいかない**ので**、その処理分は廃棄するしかなくなる。(堀大才/三戸久美子『木質廃棄物の有効利用』)

本来は価値があると評価できる事態に対し、その価値の発揮・充実に阻害する要因の存在によって、価値が無効化されるといった関係づけの文

35

考察 テモの用法と「せっかく」

1. 「せっかく」が使用されるテモ節は、テモの用法の中心である、「逆条件」のうちの「仮説条件」「事実条件」「反復・習慣」の用法である。
2. 「仮説条件」のテモは、「せっかく」の使用により、既定性が付与される。よってこれを「既定条件」と呼んでおく。
3. 「反事実条件」のテモに「せっかく」は使用できない。「反事実条件」とは、事実に反する事態をテモ節で仮定的に述べるものであり、これと「せっかく」が有する既定性が対立するからである。
4. 「せっかく」が使用されたテモは、「一般条件」の解釈が難しい。評価は、既定性を有する特定の事態を対象に行われるものだからだと考えられる。
5. 「並列条件」「並列・逆条件」「特殊用法」のテモは、「どちらの場合も」「いかなる場合も」といった、複数の条件やスケール性を有する条件を提示し、「いずれの場合も同じ帰結になる」といった意味を表す。これらに「せっかく」が使用不可能なのは、上記4と同様の理由によると思われる。

36

まとめ: 事態の既定性と「せっかく」構文

1. 「せっかく」は「既定性」と強い有縁性をもつ。
2. コーパスにおける「せっかく」の連用用法の798例のうち、ノニ節での使用例が229例、ノダカラ節での使用例が128例出現。
3. 仮定条件節よりも原因・理由節での使用が圧倒的に多い。
4. (ノ)ナラは、条件節が既定命題を表し、話し手が条件節命題の真偽を知らない「認識的条件文」を専ら表すマーカー(有田2007)であり、「せっかく」との親和性を有す。
5. 「せっかく」が用いられたテモ節は、仮定性が希薄化し、限りなく「事実条件」に接近した「逆条件」である。
6. 「たとえ」「どんなに」はテモ節の仮定的意味を強化する。一方、「せっかく」はテモ節に既定性を付与する。これらと「せっかく」の連続的使用が不可能なのはそのためである。
7. 「せっかく」が使用される(ノ)ナラ節、テモ節は既定性を有する。すなわち、仮定表現ではなく、実現が話し手によって確実視されている表現と捉えることが可能である。「せっかく」がこれらの節で自然に使用できるのはそのためである。

37

評価成分と既定性

◆工藤(1997)

「幸いに」「あいにく」など、「評価成分は、実現・確定した事態に対して評価を下すのが基本である」とし、「条件節の例も、いったん実現・確定したものと仮定するのであるから、あっても矛盾しない」とする。

→「せっかく」にも該当可能な説明

38

今後の課題

- ◆連体用法の「せっかく」の用例の精査
逆接用法に傾く理由は？
- ◆「せっかく」の使用が基本的に複文に限られる理由
用法の歴史的变化
- ◆「既定性」という概念の精密化
- ◆「どうせ」と「せっかく」の類似点と相違点の解明
例[どうせ/せっかく]ヨーロッパに[*行つたら/
*行けば/行く(の)なら]ビジネスクラスで行こう。

39

●参考文献

- 有田節子(2005)『「どうせ」「いっそ」の分布と既定性』大阪樟蔭女子大学日本研究センター報告13, pp.1-14
- (2006)『「どうせ」の意味と既定性』上田功・野田尚史編『言外と言内の交流分野 小泉保博士傘寿記念論文集』、大学書林 pp.33-45
- (2007)『日本語の条件文と時制節性』、くろしお出版
- 石神照雄(1982)『様相副詞「せっかく」と構文構造』信州大学教養部紀要 第一部 人文科学16, pp.1-13
- 今西利之(2002)『副詞「どうせ」についての覚え書き』熊本大学留学生センター紀要6, pp.1-16
- 川端善明・仁田義雄編(1997)『日本語文法 体系と方法』、ひつじ書房
- 工藤 浩(1982)『叙法副詞の意味と機能—その記述方法をもとめて—』国立国語研究所『研究報告集』3、秀英出版 pp.45-92
- (1997)『評価成分をめぐって』川端・仁田編 pp.55-72
- 言語学研究会・構文論グループ(1986)『条件づけを表現するつきそい・あわせ文(四)—その4—うらめ的なつきそい・あわせ文—』『教育国語』84、むぎ書房 pp.49-68
- 小矢野哲夫(1997a)『規定語「せっかく」の構文的機能』加藤正信編『日本語の歴史地理構造』、明治書院 pp.195-208
- (1997b)『うらめ条件—接続のモダリティ副詞—「たとえ」の使用条件—』川端・仁田編 pp.73-87
- (1997c)『副詞「せっかく」の用法』『日本語・日本文化研究』7、大阪外国語大学日本語講座pp.1-16
- 佐野裕子(2008)『「場合」に関する考察—接続助辞用法を中心に—』『日本語文法』8巻2号、日本語文法学会pp.141-155

40

- 田窪行則・笹葉淳子(2002)『日本語条件文と認知マッピング』大塚壽夫編『認知言語学 II: カテゴリー化』(シリーズ言語科学3)、東京大学出版会 pp.135-161
- 日本語記述文法研究会編(2008)『現代語文法6 第11部複文』くろしお出版
- 野田春美(1997)『「の(だ)」の機能』くろしお出版
- 野田尚史(1994)『仮定条件のとりたて—「～ても」「～では」「～だけで」などの体系—』『日本語学』13-9 明治書院 pp.34-41
- 連沼昭子(1985)『「ナラ」と「トスレバ」』『日本語教育』56、日本語教育学会 pp.65-78
- (1987)『副詞の語法と社会通念—「せっかく」と「さすがに」を例として』小泉保教授還暦記念論文集編集委員会編『言語学の視界』、大学書林pp.203-222
- (2011)『条件文と理由文の相関—「(ノ)ナラ」と「ノダカラ」を例として—』『日本語日本文学』第21号、創価大学日本語日本文学会pp.1-18
- (2012)『事態の既定性と「せっかく」構文』『日本語日本文学』第22号、創価大学日本語日本文学会pp.19-41
- 藤井聖子(2002)『所謂「逆条件」のカテゴリー化をめぐって—日本語と英語の分析から』生越直樹編『対照言語学』(シリーズ言語科学4)、東京大学出版会 pp.249-280
- 前田直子(1993)『逆接条件文「～ても」をめぐって』益岡隆志編『日本語の条件表現』、くろしお出版 pp.149-167
- (2009)『日本語の複文—条件文と原因・理由文の記述的研究—』くろしお出版
- 渡辺 実(1980)『見越しの評価「せっかく」をめぐって—国語学から言語学へ—』『月刊言語』第9巻2号、大修館書店 pp.32-40
- (2001)『さすが！日本語』、(ちくま新書)筑摩書房

●調査資料典

国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』モニター公開データ(2009年度版)